



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部長

(氏名) 渡邊 理史

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,991	△9.4	202	△19.5	213	△11.0	131	△13.2
25年3月期第1四半期	3,300	△14.7	252	△13.5	240	△14.9	151	△11.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 133百万円 (△13.1%) 25年3月期第1四半期 153百万円 (△5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10.74	—
25年3月期第1四半期	12.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,876		4,354		40.0	
25年3月期	10,430		4,282		41.1	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,354百万円 25年3月期 4,282百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	△1.1	340	△19.3	320	△20.4	200	△20.2	16.37
通期	12,400	6.2	720	12.9	670	7.6	410	6.4	33.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	13,029,500 株	25年3月期	13,029,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	811,336 株	25年3月期	811,306 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	12,218,167 株	25年3月期1Q	12,220,358 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下「当第1四半期」という）におけるわが国経済は、政府によるデフレ脱却・経済再生を目指す政策への期待感から円高の是正や株価の回復が進み、企業業績や個人消費の一部に持ち直しの傾向がみられました。しかしながら、海外においては、中国経済の減速や欧州経済の低迷などもあり、景気の先行きについては、依然として不透明な状況になっています。

このような環境下、当社グループは販売強化に努め、前年同期に比べますと減収、減益とはなりましたが、前年度第4四半期に比して、アンチモン事業、金属粉末事業ともに、回復傾向となりました。

その結果、当第1四半期の売上高は前年同期比308百万円減収（9.4%減収）の2,991百万円、営業利益は49百万円減益（19.5%減益）の202百万円、経常利益は26百万円減益（11.0%減益）の213百万円、四半期純利益は20百万円減益（13.2%減益）の131百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

#### [アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、中国経済の減速と欧州不況の継続により、需給が緩み、下落傾向となっており、当第1四半期の平均はトン当たり10,350ドルで、前年同期の13,640ドルに比して24.1%ダウンとなりました。

同事業の販売状況につきましては、家電向けなどの需要が弱含みで、当第1四半期の販売数量は、前年同期比32トン減少（1.8%減少）の1,703トンでありました。

その結果、同事業の第1四半期の売上高は、地金相場下落による販売価格の落ち込みなどで、308百万円減収（15.3%減収）の1,701百万円となりました。セグメント利益は、相場下落が続いていることなどが影響し、50百万円減益（57.5%減益）の37百万円となりました。

#### [金属粉末事業]

同事業においては、自動車部品需要に連動する粉末冶金向け金属粉については、前年同期並みの需要には至っておりませんが、電子部品向け微粉末金属粉については、スマートフォン及びタブレット型多機能端末関連需要が堅調に推移しています。

用途別の販売状況の実績につきましては、粉末冶金向け金属粉の当第1四半期の販売数量は、前年同期比72トン減少（15.8%減少）の385トン、電子部品向け微粉末金属粉は、高付加価値製品を中心に14トン増加（8.6%増加）の176トンとなり、全体では前年同期比58トン減少（9.4%減少）の561トンでありました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は0.1%増収の1,286百万円となりました。セグメント利益は、6百万円増益（4.0%増益）の157百万円となりました。

#### [その他]

当第1四半期不動産賃貸事業の売上高は3百万円（前年同期比21.7%減収）、セグメント利益は2百万円（前年同期比23.1%減益）でありました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,647百万円となり、前連結会計年度末と比べ479百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が314百万円、受取手形及び売掛金が170百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,224百万円となり前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が37百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、10,876百万円となり、前連結会計年度末と比べ445百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,002百万円となり、前連結会計年度末と比べ394百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が410百万円増加したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ21百万円減少して、2,519百万円となっております。

この結果、負債合計は、6,521百万円となり、前連結会計年度末と比べ373百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,354百万円となり、前連結会計年度末と比べ72百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益により131百万円増加したこと及び配当により61百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.0%（前連結会計年度末は41.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は順調に推移しており、平成25年5月15日に発表いたしました平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,040,248	2,354,663
受取手形及び売掛金	1,888,087	2,058,439
有価証券	1,000	—
商品及び製品	1,200,872	1,229,441
仕掛品	182,427	179,838
原材料及び貯蔵品	770,831	721,814
その他	90,628	109,837
貸倒引当金	△6,184	△6,702
流動資産合計	6,167,911	6,647,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,345,766	1,325,802
機械装置及び運搬具（純額）	1,040,525	1,019,093
土地	1,478,590	1,478,590
その他（純額）	69,975	74,314
有形固定資産合計	3,934,858	3,897,801
無形固定資産	66,115	63,731
投資その他の資産	257,437	263,014
固定資産合計	4,258,411	4,224,547
繰延資産	4,525	4,148
資産合計	10,430,848	10,876,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	889,063	1,300,031
短期借入金	1,987,500	1,908,200
未払法人税等	99,698	89,015
賞与引当金	97,143	83,138
その他	534,357	622,087
流動負債合計	3,607,762	4,002,473
固定負債		
社債	274,000	260,000
長期借入金	1,819,900	1,809,900
退職給付引当金	304,535	307,294
負ののれん	787	—
資産除去債務	35,279	35,287
その他	106,497	106,888
固定負債合計	2,540,999	2,519,370
負債合計	6,148,762	6,521,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	2,859,236	2,929,420
自己株式	△146,705	△146,713
株主資本合計	4,295,383	4,365,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,297	△11,374
その他の包括利益累計額合計	△13,297	△11,374
純資産合計	4,282,086	4,354,185
負債純資産合計	10,430,848	10,876,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,300,236	2,991,426
売上原価	2,834,033	2,577,244
売上総利益	466,202	414,181
販売費及び一般管理費	214,155	211,365
営業利益	252,046	202,815
営業外収益		
受取配当金	1,016	1,524
負ののれん償却額	7,904	787
為替差益	—	21,457
助成金収入	3,584	—
その他	773	1,953
営業外収益合計	13,279	25,721
営業外費用		
支払利息	14,950	10,620
為替差損	5,052	—
その他	4,924	3,967
営業外費用合計	24,926	14,588
経常利益	240,398	213,949
特別損失		
固定資産除却損	1,465	251
ゴルフ会員権売却損	3,376	—
特別損失合計	4,841	251
税金等調整前四半期純利益	235,556	213,697
法人税、住民税及び事業税	95,942	90,991
法人税等調整額	△11,706	△8,568
法人税等合計	84,236	82,422
少数株主損益調整前四半期純利益	151,320	131,274
四半期純利益	151,320	131,274



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,320	131,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,908	1,923
その他の包括利益合計	1,908	1,923
四半期包括利益	153,228	133,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,228	133,197

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,010,533	1,285,649	3,296,183	4,052	3,300,236	—	3,300,236
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,838	7,838	—	7,838	△7,838	—
計	2,010,533	1,293,488	3,304,021	4,052	3,308,074	△7,838	3,300,236
セグメント利益	87,464	151,097	238,561	3,817	242,379	9,666	252,046

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額9,666千円はセグメント間取引の消去9,666千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,701,947	1,286,305	2,988,252	3,173	2,991,426	—	2,991,426
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	11,419	11,419	—	11,419	△11,419	—
計	1,701,947	1,297,724	2,999,671	3,173	3,002,845	△11,419	2,991,426
セグメント利益	37,212	157,146	194,359	2,935	197,294	5,521	202,815

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額5,521千円はセグメント間取引の消去5,521千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。